

狛江市緑の基本計画改定 市民ワークショップを開催しました

現在改定を進めている狛江市緑の基本計画について、市民の皆さんのご意見をお聞きするためワークショップを2月から3月にかけて3回開催しました。ワークショップでは狛江市の緑や水辺を守り、育てつなぐためのどのようなことができるかをテーマとして参加者の皆さんで活発なご意見を交わしていただきました。

発表も
行いました!

2/9

第1回

「狛江市民にとって
質の高い緑とは？～量から
質への転換に向けて～」

はじめに狛江市緑の基本計画改定検討委員会 委員長の東京農業大学 宮林茂幸教授から基調講演をいただきました。

ワークショップでは市内の心地よさを感じる緑や大切にしたい緑を出しあい、多摩川や野川、狛江弁財天池特別緑地保全地区が魅力的であるという意見が多く挙がりました。

また、心地よさを感じる緑や大切にしたい緑を増やしていくアイデアには緑道や公園の樹木に樹名板をつける、緑に関する活動の情報を得られる仕組みをつくる、緑の基礎知識を学ぶ場をつくるなどが挙がりました。



3/2

第2回

「市民の手で守りつ
なぐ狛江市の緑」

第2回目のワークショップでは市内の守っていききたい樹林地や農地を出しあいました。樹林地は西野川樹林地や東野川三丁目樹林地などのほか、古墳周辺の樹林、社寺林、河川敷の樹林などが挙がりました。また、農地は市民農園や体験農園、生産緑地などが挙がりました。

樹林地や農地を守るためのアイデアは、狛江市の樹林地や農地について知ることができる情報発信をする、市民ボランティアによる樹林地管理を行う、樹林地や落ち葉の活用などが挙がりました。



3/16

第3回

「みんなが行きたく
なる公園づくり」

第3回目のワークショップでは大人グループと子どもグループに分かれ、市内の公園や緑道のいいところや気になるところ、魅力が高まるアイデアについて話しあいました。

公園や緑道の魅力が高まるアイデアについては、大人グループでは公園の魅力や季節に応じた情報を発信する、公園に特色やシンボルをつくる、市民や地域主体の公園管理を進めるなどの意見が挙がりました。

子どもグループでは魅力を高めるため公園にあったらうれしいものは何かを考え、ツリーハウスやハンモックがほしいなどの自由な意見が挙がりました。



いただいたご意見については狛江市緑の基本計画の改定に反映させていただきます。
ご参加くださった皆さん、本当にありがとうございました!